

Update 拡張機能一覧

Update 2 ビルド(20121003 1115)で改善された事項:

Autodesk® Revit® Architecture 2013 の拡張機能

- 解析用壁が含まれている 2012 プロジェクトをアップグレードする際の安定性が向上しました。
- 床のスケッチ線を複数同時に調整する際の安定性が向上しました。
- [セグメントの追加/削除]ツールで屋根の樋を編集する際の安定性が向上しました。
- 階段経路タイプや踊り場の名前を「なし」に変更する際の安定性が向上しました。
- リボンの[編集モードをキャンセル]ボタンを使用して階段編集モードを終了する際の安定性が向上しました。
- 壁のスweepの開いたプロファイルを使用する際の安定性が向上しました。
- 壁を分割する際の安定性が向上しました。

Autodesk® Revit® Platform 2013 の拡張機能

- [中央モデルに保存]または[中央モデルと同期]を実行する際の安定性が向上しました。
- プロジェクト ブラウザから[アセンブリ ビューを作成]を使用する際の安定性が向上しました。
- ファミリ エディタでラベルを編集する際の安定性が向上しました。
- ディスク容量が少ない場所にファイルを保存する際の安定性が向上しました。
- [gbxml 書き出し - 設定]ダイアログを起動する際の安定性が向上しました。
- グラフィックス表示での安定性とメモリの使用が向上しました。
- 使用可能なジオメトリがない開口部が含まれている IFC データを読み込む際の安定性が向上しました。
- Revit 2012 に読み込まれる際に警告が発生した IFC データを読み込む際の安定性が向上しました。
- IFC の読み込み中にクリップされたソリッドの読み込みが向上しました。
- IFC の書き出しが向上し、buildingSMART の国際 IFC 認定をサポートするようになりました。
- DWG ファイルのリンクやアタッチの安定性が向上しました。
- DWG や DXF 形式に書き出した後で印刷する際の安定性が向上しました。
- マテリアル エディタでマテリアルを作成、複製、削除する際の安定性が向上しました。
- Revit 2012 からアップグレードされたパーツ内のパーツ パラメータが保持されるようになりました。
- .NET 4.5 のインストール後に行われるリボン タブの自動生成が修正されました。
- 計算式で使用されるパラメータを削除した後で、集計表内の計算済みの値を編集する際の安定性が向上しました。
- ユーザ定義パラメータに基づくフィルタと、ユーザ定義パラメータが含まれていないリンク ファイル内の要素が含まれる集計表の安定性が向上しました。
- [太陽の設定]ダイアログを開く際の安定性が向上しました。
- 文字注記を編集する際の安定性が向上しました。
- Revit 2013 に Revit 2012 プロジェクトをアップグレードする際の安定性が向上しました。
- 分離オプションを利用するトリミング領域を移動する際の安定性が向上しました。

Update 1 ビルド(20120716 1115)で改善された事項:

Autodesk® Revit® Architecture 2013 の拡張機能

- 多数の点を作成するスラブやサイトなど、スケッチ エディタを終了する際の安定性が改善されました。
- U 字型曲り階段の作成が改善されました。
- 曲り階段を編集する際の安定性が改善されました。
- プロジェクト内に多くの手すりが存在するときのパフォーマンスが改善されました。
- 支持のタイプが階段に定義されていないときの安定性が改善されました。
- 簡略ビューでの手すりの表現が改善されました。

Autodesk® Revit® Structure 2013 の拡張機能

- 3D ビューでの解析節点の配置が改善されました。
- [警告]ダイアログが開いたときに、[このビューに解析モデル カテゴリを表示]を有効にする際の安定性が改善されました。
- 解析モデルの壁をコピーするときの物理的な壁との一貫性が改善されました。
- 解析サーフェスの境界にまたがるオブジェクト内にある開口部を編集する際の安定性が改善されました。
- スラブの構造パラメータのレポートが修正されました。
- 構造ビューの[マスク]領域および[塗り潰し]領域によって、リンクされたファイルのマスキングが改善されました。
- 鉄筋を配置する際の安定性が改善されました。
- [面に配筋とパス配筋内で構造鉄筋をホスト]の配筋プロジェクト設定が異なるプロジェクト間で、面に配筋またはパス配筋をプロジェクト間でコピーする際の安定性が改善されました。
- 詳細レベルで表示される丸鉄筋の表示が改善されました。

Autodesk® Revit® MEP 2013 の拡張機能

- 勾配が 15 度より大きいときのプレースホルダ配管の勾配の値が修正されました。
- 置換が含まれるレイアウトに勾配を適用するときの一貫性が改善されました。
- 別のシステムに属する配管を分割する際の安定性が改善されました。
- 立上り/立下り記号を表示するときの中心線の表示が修正されました。
- 配管プレースホルダ集計表が含まれる Revit 2012 のプロジェクトを開く際の安定性が改善されました。
- パネル集計表内の単位の書式設定の一貫性が改善されました。
- 配管またはダクト システムに接続されている機器に回路を追加するときの一貫性が改善されました。
- 配線に接続されている装置を回路に追加する際の安定性が改善されました。
- ダクト置換と配管置換の注釈表示が改善されました。
- ダクト継手を挿入する際の安定性が改善されました。
- 経路パターンを表示する際の安定性が改善されました。

Autodesk® Revit® Platform 2013 の拡張機能

- 旧バージョンのプロジェクトを開く際の安定性が改善されました。
- コピーと貼り付けの操作時の安定性が改善されました。
- 背景が透明の塗り潰し領域の表示が修正されました。

Autodesk® Revit® 2013 Update 拡張機能一覧

- 要素にペイントされたマテリアルを ODBC に書き出せるようになりました。
- 多数のファミリーが含まれるプロジェクトでスケッチ モードを開いたり閉じたりするときのパフォーマンスが改善されました。
- デザイン オプションをメインに設定する際の安定性が改善されました。
- 分割されたパスの[固定間隔]オプションの安定性が改善されました。
- ネットワークに接続されていない場合に Revit Server を参照するときの安定性が改善されました。
- 複数の要素に同じ名前と数がある場合に、スペースとゾーンの要素を書き出す際の一貫性が改善されました。
- レイトレース モードを DirectX 9 で作業できるようになりました。
- ハードウェア アクセラレータを無効にしてレイトレース モードを使用する際の安定性が改善されました。
- レイトレース モードのレンダリング出力が改善されました。
- 複数選択項目での要素によるサーフェスの透過性の上書きが改善されました。
- トーン マッピングが有効な場合の印刷の一貫性が改善されました。
- レイトレース モードでの太陽と太陽パスのレンダリングを無効化できるようになりました。
- レイトレース モードで手動露出を使用する際の安定性が改善されました。
- ビューをレンダリングするときの安定性が改善されました。
- 空、露出、アンチエイリアシングなどの視覚化機能を使用する際の安定性とパフォーマンスが改善されました。
- 特殊文字が含まれる IFC データを読み込む際の安定性が改善されました。
- IFC データを読み込む際のカスタム パラメータ値の設定が改善されました。
- 無効な線種パターンが含まれる IFC データを読み込む際の安定性が改善されました。
- DWF からのマークアップを DWF に書き出せるようになりました。
- DWG ファイルを Revit プロジェクトにドラッグ アンド ドロップする際の安定性が改善されました。
- DXF データを読み込む際の安定性が改善されました。
- 書き出しの単位をメートルに設定して DWG に書き出す際の寸法の正確性が改善されました。
- DWG に書き出す際のハッチング パターンと塗り潰しパターンの位置合わせが改善されました。
- インプレイス壁にある要素の新しいホストを選択する際の安定性が改善されました。
- リンクされたモデルがあるプロジェクト内での断面図の作成が改善されました。
- マテリアルを操作する際の安定性が改善されました。
- 要素に割り当てられているパターン タイプのマテリアル エディタでの表示が改善されました。
- [ペイント]インタフェース内のマテリアル カテゴリの表示が修正されました。
- パース ビューでの塗り潰しパターンの出力表示が修正されました。
- 複数の要素タイプが選択セットに含まれる際のタイプ編集の安定性が改善されました。

Autodesk® Revit® API 2013 の拡張機能

- ElementId を参照しない 1 つのトランザクション中に、Document.PostFailure を使用して複数のエラーを発行できるようになりました。
- Revit コマンド([壁]ツールなど)がアクティブの場合に、UIApplication.DoDragDrop を使用する際の安定性が改善されました。
- PreviewControl がアクティブの場合に、(ビューのズームのショートカットを除く)キーボード ショートカットを無効にすると安定性が向上するようになりました。

Autodesk®

Autodesk® Revit® 2013 Update 拡張機能一覧

- 一致する選択対象が見つからない場合の `ReferenceIntersector.FindNearest()` の安定性が改善されました。
- 変換されたファミリ インスタンスに面ベースのファミリを配置するために `NewFamilyInstance` を許可するように検証ロジックが修正されました。
- `Dimension.Above` と `Dimension.Below` により、データの変更にユーザが操作しなくても寸法が更新されるようになりました。
- Revit 2013 では `MechanicalSystem.SystemType`、`ElectricalConnector.SystemType`、`PipeConnector.SystemType` のプロパティが廃止されました。代わりに `ConnectorElement` の `RBS_DUCT_CONNECTOR_SYSTEM_CLASSIFICATION_PARAM` のパラメータを照会します。
- `ConnectorManager.UnusedConnectors` で報告されるデータが修正されました。
- Extensible Storage データが中央ファイルの要素に追加されると発生する可能性のあるファイル破損が修正されました。
- Extensible Storage が含まれる既存のファイルを、Extensible Storage データが含まれる別のファイルで上書きして保存する際の安定性が改善されました。
- リンクが含まれる RVT ファイルを再度開いたときに、`RevitLinkType.Create` で作成された RVT リンクがロードされたままになるようになりました。
- 以前は `Rebar.GetCenterlineCurves()` のメソッドで `'suppressBendRadius'` を `true` に設定すると、フィレットの曲げおよびパラメータ化されたユーザ描画円弧の両方が、メソッドによって返されるカーブのコレクションから省略されていました。現在、このメソッドではフィレットの曲げだけが省略され、描画された円弧は直線エッジとともに含まれるようになりました。
- `Rebar.GetCenterlineCurves()` のメソッドが更新され、`MultiplanarOption(enum)` の引数が追加されました。この引数には、`IncludeAllMultiplanarCurves` または `IncludeOnlyPlanarCurves` を設定する必要があります。この引数は、多平面鉄筋インスタンスのすべてのカーブを返すのか、主平面にあるカーブのみを返すのかをコントロールします。
- `Rebar.ComputeDrivingCurves()` のメソッドが有効になりました。このメソッドは、形状を形成する線や円弧が含まれるカーブのコレクションを返しますが、フィレットとフックは除外されます。これは、`GetCenterlineCurves(adjustForSelfIntersection=false, suppressHooks=true, suppressBendRadius=true, multiplanarOption=IncludeOnlyPlanarCurves)` を呼び出すのと同様です。
- `RebarShapes` をカーブのコレクションに一致させる処理を行う `RebarShape` メソッドが改良されました：`CreateFromCurvesAndShape()`、`RebarShapeMatchesCurvesAndHooks()`。
- `RebarShape.Create()` のメソッドの動作が修正され、`RebarShapeMultiplanarDefinition` 引数オブジェクトで指定された、平面から外れた曲げ直径が無視されないようになり、常に内部の既定値が使用されるようになりました。

Autodesk, DWF, FBX, Revit, ViewCube, および 3ds Max は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。全てのブランド名、製品名または商標は、個々の権利所有者に帰属します。Autodesk は、いつでも予告なしに、製品および仕様を変更する権利を留保し、かつ本文中の誤記または図表の誤りについて責任を負わないものとします。Autodesk は、時折、当社の既存の製品およびサービス、または新しい製品およびサービスの計画中または将来の開発について発表を行います。これらの発表は、将来の製品、サービス、機能の提供を確約または保証することを意図するものではなく、当社の変更の可能性のある現在の計画を単に示すものです。当社には、このような前向きな内容の発表を行った後で、状況の変化に対応すべく発表内容を更新しなければならない義務はありません。

© 2012 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk®